

第2回質問事項等対応表（基準版）

NO	項目	旧ページ	質問内容	回答	対応	計画案反映【修正版ページ】
1	点数	A	特定空家該当となる点数が150点であるが、140点程度で150点にわずかに満たないものをどう扱うかも盛り込んだ方がよいのでは。例えば、2次的な調査を行うとか。	検討する。	・国交省のデータを含めて参考資料を整理	国等の事例資料を作成
2		A	Aは最大250点であるが、B、C、Dは最大120点である。そのように設定した理由もほしい。点数配分は、H23年度に国が示した点数表もあるので、それも参考に紹介してほしい。	次回までに確認する。	考え方を整理 ・2段階方式／150点未満の空家の特定空家等の判断	
3		全体	設定した点数の簡単な説明が必要	—		
4	周辺への影響の個別案件	A	学校等の人が集まる場所に近いことも考慮してはどうか。	検討する。	文言追加	D-3 防犯の文言追加
4		A-1	建物が傾いているが、1軒だけぽつんと建っている空家は対象か。	周囲に影響がなければ対象外	—	—
		A-1	隣接道路の通行量は考慮するのか。	そこまで考慮はできない。		
		A-1	道路ではないが、田畑に隣接している場合は。	「等」に含む。		
5	A-3	建物には危険性はないが、建物から離れた擁壁が崩れそうな場合はどう扱うのか。	次回までに確認する。	・隣接住宅、道等周辺路に危険等悪影響があれば対象とする。	A-3 e) 【危険な状況】追加	
6	D-5	敷地からの土砂流出は、大雨でどこでも起こりうるが、それも考慮するのか。	大雨によるものを考慮するときりがないので、現時点で流出しているものを対象とする。			
7	評価	A-1	該当しない場合0点であるが、こどもが探検などで近づくことも考えられるので、該当しない場合でも1点ぐらいつけてはどうか	検討する。	—	D-3 防犯の文言追加